

平成29年度 第2回宝達志水町青少年国際交流推進実行委員会

会議録要旨

開会日程 平成30年2月8日(木)
会議場所 生涯学習センター さくらドーム2階 第2会議室
出席者 山岸委員長、横山委員、北橋委員、山下委員
欠席委員 田邊委員、岡山委員
説明員 定免生涯学習課長、秋田課長補佐、丸山主事

開 会 午後7時

1 山岸委員長あいさつ

2 議 件

(1) 平成29年度宝達志水町青少年国際交流推進事業実績報告について
定免生涯学習課長、丸山主事が報告書に基づき説明した。

(2) 平成30年度宝達志水町青少年国際交流推進事業計画について
定免生涯学習課長、丸山主事が資料に基づき説明した。

(3) その他

(平成29年度青少年国際交流推進事業実績報告について委員の意見等)

委員

- 1 事業終了後の団員たちは、物おじせず、堂々と自分の思いを言葉で表現することができるようになった。この10日間の事業は子どもたちにとってプラスであった。
- 2 校長先生の話や報告書から派遣事業が子どもたちにとってプラスになったことが伺える。この事業を今後も継続していくことが大切だと思う。
- 3 事業後の交流の様子をもっと公にしていけばよいと思う。やりとりが一度きりでその後自然消滅してしまうのは残念だ。交流を続ける機会を与えてあげたらもっと効果が出ると思う。

事務局

事業に参加した団員にとっては本当に良い経験となり、人間としての成長も見られ、事業後1年間ほどは交流が続くが、その後は交流が途絶えてしまうのが現状である。将来につなげていくことがこの事業の課題である。

(平成30年度青少年国際交流推進事業計画(案)について委員の意見等)

事務局

来年度のオーストラリアへの派遣事業について、当初は予算を計上し準備を進めていた。昨年12月半ばにグッドシェパード・ルーゼラン校の日本語教師であり派遣事業担当のニコラス氏から来年度は本町派遣団の受入ができない旨、連絡があった。平成30年度に、ルーゼラン校生徒がバスケットボールのアメリカ遠征に行く計画をしている。予算の関係で平成30年度は派遣事業の受け入れを見送りたいと申し出があった。

平成31年度は派遣事業を行う予定である。ヌーサ派遣団は隔年で来ているので、今後はこちらも隔年にもすることも検討中である。毎年ヌーサに派遣できたらいいが、両町のバランスもある。平成31年度は派遣する予定であり、派遣時に関係者同士で今後こういった体制にすべきかを改めて検討したいと考えている。よって平成30年度は派遣、受入事業ともに実施しないことを了承願いたい。

委員

なぜこれまでヌーサの派遣団は隔年で訪問しているのか。

委員長

ヌーサからの研修生は東京、広島、京都などを観光してから最後に宝達志水町を訪問する形をとっている。全額個人負担であることもあり、2年に一度訪問しているのだと現地の担当者から聞いている。

事務局

両町のバランスを考慮し、来年度以降の事業の進め方を十分に検討していかなければならない。ただ、隔年と毎年のどちらがよいのかは、中学・高校の学校生活との兼ね合いもあるので、吟味する必要がある。

ここ数年、町からの団員は女子生徒のみであり、受入家庭を探すのに大変苦労されていた。今年度は校長先生も受入家庭となってくださった。毎年派遣すると、ヌーサのホームステイ先を確保するのがかなりの負担になると思われる。

委員

相手先の都合があるので今回のように事業を見送ることも起こりうるが、毎年行うのか、隔年で行うのかを町として方向性を決めておく必要がある。

応募資格にヌーサ研修生のホストファミリーになることと規定されているが、受入事業を行った年にホストファミリーにならずに済んだ団員もいた。ホストファミリーになることができなくて参加できなかった生徒も過去にいたので、その点もはっきりさせるとよいと思う。受け入れのない年は、ホストファミリーになることを前提とした団員決定でなくてもよいと思う。

事務局

お互い隔年で派遣事業を行うことになった場合、交互に行き来する方法と同じ年に派遣・受入事業を実施し、一年の間を置く方法がある。後者の場合、応募資格とし

てホストファミリーとなることは必須となり、応募資格と事業の結果に矛盾が起きなくなる。学年が変わり、ホストファミリーにはなれないということも起こりうる。同じ年に両事業を実施すればその心配もなくなる。
交流事業に関わるさまざまなことを含め、事業の方向性について再確認していく。ヌーサ側が毎年町の派遣団の受入を奨励する姿勢であれば、その方向で進めていくこともできる。いずれにせよ、2年後に結論を出させていただきたい。

委員長

いろいろなご意見はあるが、平成30年度は提案のあった計画案に基づいて事業を実施していくことでよいか。(全員賛同)

事務局

青少年国際交流実行委員の任期は今年度で満了となる。委員を引き受けてくださったみなさんに感謝を申し上げたい。次は平成30年度から2年間となる。

(以上)

3 閉 会 8時